

# 経済統計：第3回中間試験

村澤 康友

2015年7月13日

注意：3問とも解答すること。結果より思考過程を重視するので、途中計算等も必ず書くこと（部分点は大きいに与えるが、結果のみの解答は0点とする）。

1. (20点) 以下の用語の定義を式または言葉で書きなさい（各20字程度）。
  - (a) 統計量
  - (b)  $\chi^2$  分布
  - (c) t 分布
  - (d) F 分布
2. (30点) 府大生の平均通学時間を調べたい。そこで無作為に選んだ府大生5人に通学時間を尋ねたところ、20分・40分・50分・60分・80分という回答が得られた。
  - (a) 標本平均と標本分散を求めなさい。
  - (b) 標本平均の分散の推定値を求めなさい。
  - (c) 正規母集団を仮定して平均通学時間の90%信頼区間を求めなさい。
3. (50点) 無作為標本を用いた母平均・母分散の推定について以下の問いに答えなさい。
  - (a) 標本平均が母平均の不偏推定量であることを示しなさい。
  - (b) 標本分散が母分散の不偏推定量であることを示しなさい。  
さらに正規母集団を仮定して以下の問いに答えなさい。
  - (c) 標本平均の標本分布を求めなさい。
  - (d) 標本分散の標本分布を書きなさい（証明不要）。
  - (e) 標本平均が母平均の漸近有効推定量である理由を説明しなさい。

## 解答例

### 1. 統計学の基本用語

- (a) 標本の関数.
- (b)  $Z_1, \dots, Z_n \sim N(0, 1)$  が独立のときの  $Z_1^2 + \dots + Z_n^2$  の分布.
- (c)  $Z \sim N(0, 1)$  と  $X \sim \chi^2(n)$  が独立のときの  $Z/\sqrt{X/n}$  の分布.
- (d)  $U \sim \chi^2(m)$  と  $V \sim \chi^2(n)$  が独立のときの  $(U/m)/(V/n)$  の分布.

### 2. 母平均の区間推定

- (a) 標本平均は

$$\begin{aligned}\bar{X} &:= \frac{20 + 40 + 50 + 60 + 80}{5} \\ &= 50\end{aligned}$$

標本分散は

$$\begin{aligned}s^2 &:= \frac{(20 - 50)^2 + (40 - 50)^2 + (50 - 50)^2 + (60 - 50)^2 + (80 - 50)^2}{4} \\ &= \frac{900 + 100 + 0 + 100 + 900}{4} \\ &= 500\end{aligned}$$

- 不偏分散でなければダメ.

- (b) (無作為標本の) 標本平均の分散は

$$\begin{aligned}\text{var}(\bar{X}) &= \text{var}\left(\frac{X_1 + \dots + X_n}{n}\right) \\ &= \frac{\text{var}(X_1 + \dots + X_n)}{n^2} \\ &= \frac{\text{var}(X_1) + \dots + \text{var}(X_n)}{n^2} \\ &= \frac{\sigma^2}{n}\end{aligned}$$

推定値は

$$\begin{aligned}\frac{s^2}{n} &= \frac{500}{5} \\ &= 100\end{aligned}$$

- 前問の  $s^2$  と整合的なら OK.

- (c) (無作為標本の) 標本平均の分布は

$$\bar{X} \sim N\left(\mu, \frac{\sigma^2}{n}\right)$$

標準化すると

$$\frac{\bar{X} - \mu}{\sqrt{\sigma^2/n}} \sim N(0, 1)$$

$\sigma^2$  を  $s^2$  に置き換えると

$$\frac{\bar{X} - \mu}{\sqrt{s^2/n}} \sim t(n-1)$$

t 分布表より  $n = 5$  なら

$$\Pr \left[ -2.132 < \frac{\bar{X} - \mu}{\sqrt{s^2/n}} < 2.132 \right] = .9$$

または

$$\Pr \left[ -2.132 \sqrt{\frac{s^2}{n}} < \bar{X} - \mu < 2.132 \sqrt{\frac{s^2}{n}} \right] = .9$$

または

$$\Pr \left[ \bar{X} - 2.132 \sqrt{\frac{s^2}{n}} < \mu < \bar{X} + 2.132 \sqrt{\frac{s^2}{n}} \right] = .9$$

前問の結果を代入すると, 90 %信頼区間は (28.68, 71.32).

- 前問の  $s^2/n$  と整合的なら OK.
- t 分布の自由度の誤り, t 分布表の読み違いは 0 点.

### 3. 母平均・母分散の点推定

(a) 母平均を  $\mu$ , 標本平均を  $\bar{X}$  とすると

$$\begin{aligned} E(\bar{X}) &= E\left(\frac{X_1 + \cdots + X_n}{n}\right) \\ &= \frac{E(X_1) + \cdots + E(X_n)}{n} \\ &= \frac{\mu + \cdots + \mu}{n} \\ &= \mu \end{aligned}$$

(b) 標本分散は

$$s^2 := \frac{1}{n-1} \sum_{i=1}^n (X_i - \bar{X})^2$$

母分散を  $\sigma^2$  として次式を示せばよい.

$$E\left(\sum_{i=1}^n (X_i - \bar{X})^2\right) = (n-1)\sigma^2$$

ここで

$$\begin{aligned} \sum_{i=1}^n (X_i - \bar{X})^2 &= \sum_{i=1}^n [(X_i - \mu) - (\bar{X} - \mu)]^2 \\ &= \sum_{i=1}^n \left[ (X_i - \mu)^2 - 2(X_i - \mu)(\bar{X} - \mu) + (\bar{X} - \mu)^2 \right] \\ &= \sum_{i=1}^n (X_i - \mu)^2 - 2 \sum_{i=1}^n (X_i - \mu)(\bar{X} - \mu) + n(\bar{X} - \mu)^2 \\ &= \sum_{i=1}^n (X_i - \mu)^2 - n(\bar{X} - \mu)^2 \end{aligned}$$

したがって

$$\begin{aligned} E\left(\sum_{i=1}^n (X_i - \bar{X})^2\right) &= \sum_{i=1}^n E((X_i - \mu)^2) - n E((\bar{X} - \mu)^2) \\ &= \sum_{i=1}^n \text{var}(X_i) - n \text{var}(\bar{X}) \\ &= n\sigma^2 - n \frac{\sigma^2}{n} \\ &= (n-1)\sigma^2 \end{aligned}$$

(c) 正規母集団からの無作為標本なので

$$X_1, \dots, X_n \sim N(\mu, \sigma^2)$$

$X_1, \dots, X_n$  の線形変換なので

$$\bar{X} \sim N\left(\mu, \frac{\sigma^2}{n}\right)$$

- 結果のみは 5 点（正規分布となる理由の説明が必要）.

(d)

$$\frac{(n-1)s^2}{\sigma^2} \sim \chi^2(n-1)$$

(e) 正規母集団からの無作為標本の標本平均は母平均の ML 推定量であり，ML 推定量は一般に漸近有効だから．